

インフォメーション

投映のご案内

| | 10:00~ | 11:30~ | 13:00~ | 14:30~ | 16:00~ | 17:30~ | 19:00~ |
|-------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平日 | (学校団体専用) | | | | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 |
| 夏休み平日 | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 |
| 土曜日 | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 | 一般投映 | 特別投映* |
| 日・祝日 | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 | 一般投映 | 全天周映画 | | |

* 印の回は天文教室等でご利用になれないことがあります。

■プラネタリウム一般投映

前半は星座案内をライブで。後半は天文のトピックスを映像を駆使して解説。

■全天周映画

『かつしか〜水と緑／クロノス〜時間の映像詩』（7月19日まで）
『かつしか〜人とまち／フライヤーズ』（7月21日から）
魚眼レンズを通してドームいっぱいに展開されるダイナミックな70ミリ映画。

■特別投映 ミュージック・プラネット

美しい星空と音楽を心ゆくまで。ちょっと大人向けのプラネタリウム。
6月13・20・27日、7月18・25日、8月1・15・22・29日(土) 19時より。

■たなばた親子特別投映

小さなお子さま向けの特別プログラム。7月7日(火) 16時、19時より。

■定員 170名・入れ替え制・途中からの入退場はできません。

■観覧料 (博物館入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児(座席使用)50円

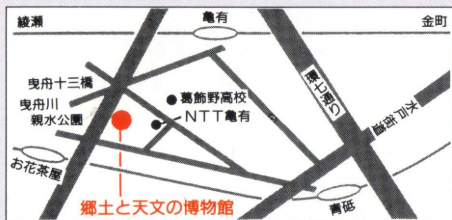
星をみる会

博物館が誇る日本最大の屈折クーデ望遠鏡で、本物の天体を観察してみませんか。
7月4・11日、8月8日、9月5日(土) いずれも19時より。
実施日の10日前までに、希望日・参加者全員のお名前・年齢・電話番号を明記して、往復ハガキでお申し込みください。

休館日

毎週月曜日(祝日を除く)、第2・4火曜日、年末年始
9月1~4日は番組入替のため、プラネタリウム・全天周映画は休演いたします。

交通のご案内



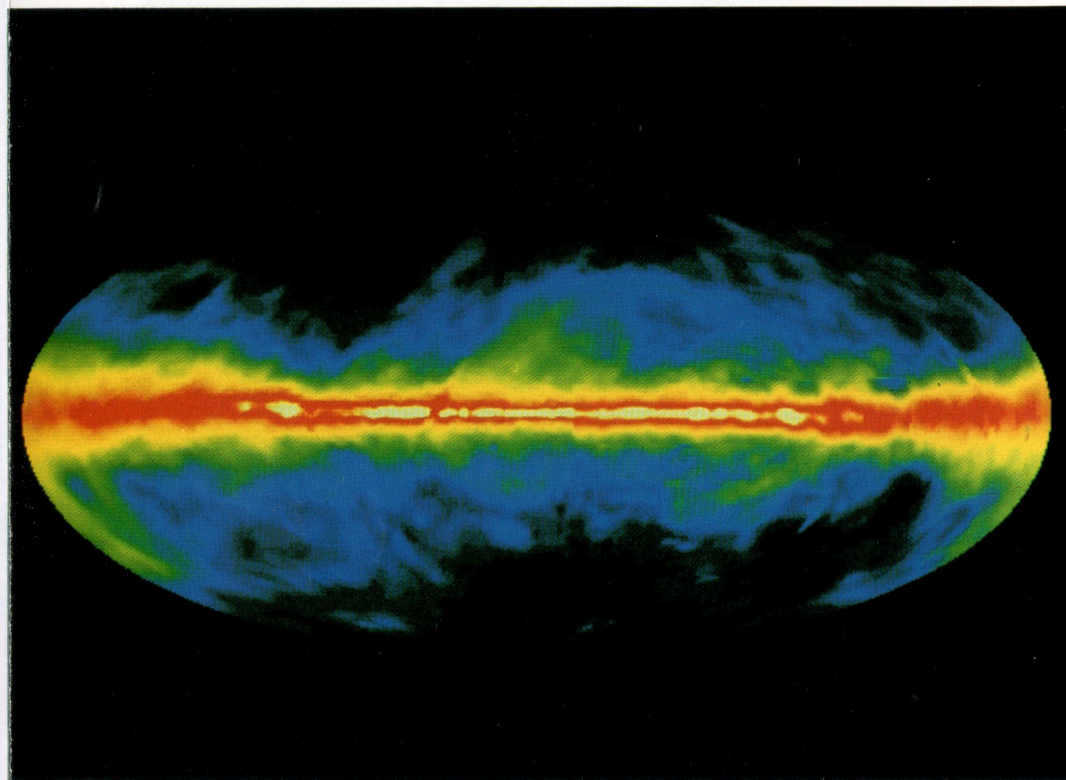
- 京成線お花茶屋駅から8分
- JR常磐線亀有駅から25分
- お車でのご来館はご遠慮ください。

葛飾区郷土と天文の博物館

〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1
☎(03)3838-1101 FAX(03)5680-0849

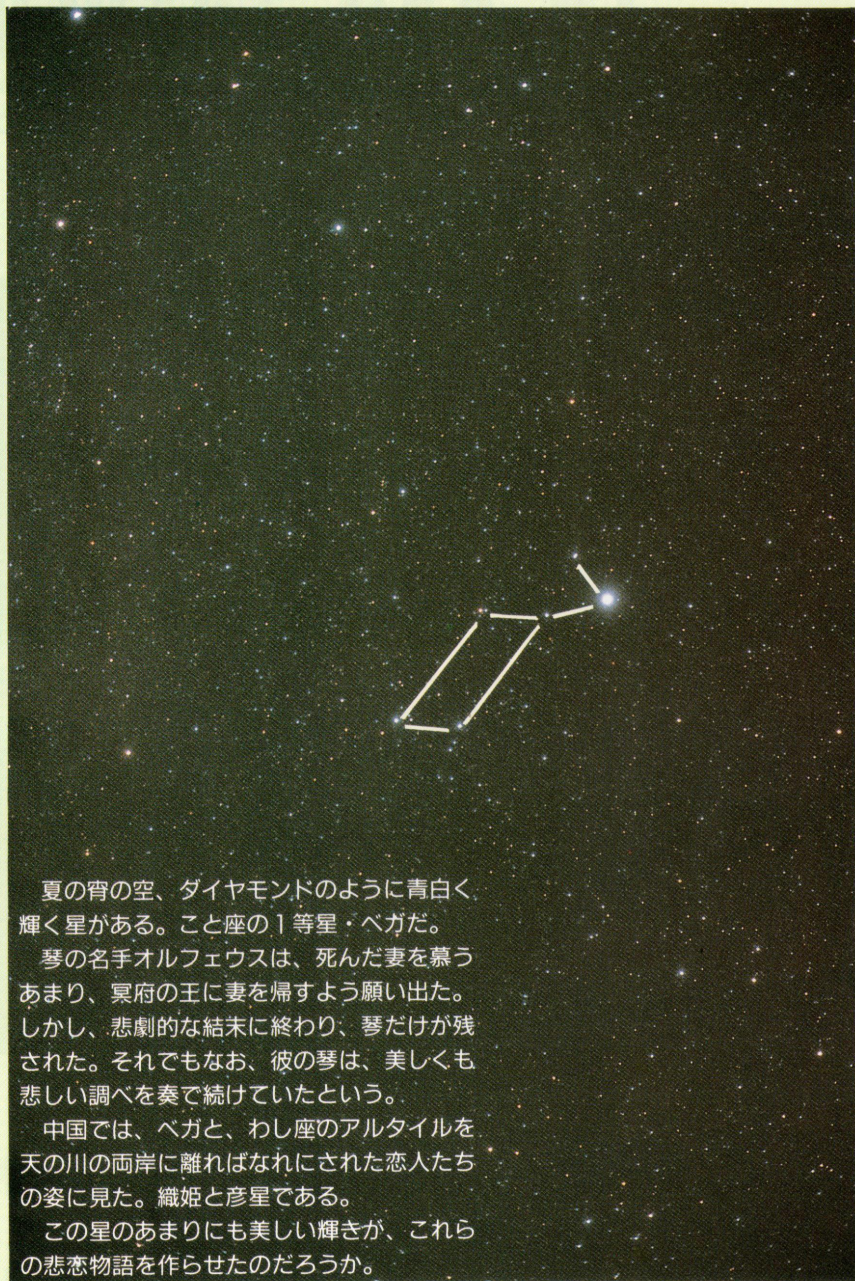
PLANETARIUM

プラネタリウム一般投映 今夜の星空／ザ・ミルキーウェイ



葛飾区郷土と天文の博物館

Vol. 5 1992 夏



夏の宵の空、ダイヤモンドのように青白く輝く星がある。こと座の1等星・ベガだ。

琴の名手オルフェウスは、死んだ妻を慕うあまり、冥府の王に妻を帰すようお願いした。しかし、悲劇的な結末に終わり、琴だけが残された。それでもなお、彼の琴は、美しくも悲しい調べを奏で続けていたという。

中国では、ベガと、わし座のアルタイルを天の川の両岸に離ればなれにされた恋人たちの姿に見た。織姫と彦星である。

この星のあまりにも美しい輝きが、これらの悲恋物語を作らせたのだろうか。

天の川から銀河系へ

昔の人たちは、天の川の姿をどのように考えていたのでしょうか？

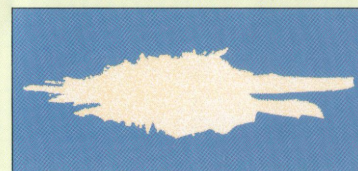
世界各地で、様々な想像がめぐらされてきました。その中の一つ、ギリシャ神話では、天の川を女神ヘーラの乳がこぼれたものであると伝えています。

では、天の川の実際の姿は、どのようなものなのでしょう…。

天の川を、はじめて哲学的に考えたトーマス・ライトは、宇宙をゴムボールのようなものに例えました。ボールの中は空洞、そして星々は、ゴムの厚みのところだけに散らばっていると考えました。ただし、これには科学的な根拠は何もありませんでした。

はじめて天の川を科学的に追求したのは、ウィリアム・ハーシェルです。彼は、星は宇宙に均一に散らばっていると考えました。この考えによると、夜空で星が多く見えるところは、それだけ遠くまで宇宙が続いていることになります。そこで彼は、星空を683の領域に分けて、星の数をかぞえ、各領域までの距離を求め、私達が円盤状の星の大集団の中にいることを明らかにしました。

以後、その形や大きさは、カプタインやシャプレーによって修正がすすめられ、ついに現在の銀河系モデルができあがったのです。



ハーシェルの銀河系モデル

現在でもまだ解明されていない問題もあります。例えば、銀河系中心部にブラックホールがあるのではないかと考えられていますが、実際にはよく分かっていません。

ここから先は、未来の仕事です。きっと人類はこの謎を解きあかすことでしょう。

■もっと詳しく知りたい方には、こんな本もあります。

- ・銀河系をさぐる 茨木孝雄・伊東昌市 岩崎書店
- ・銀河の発見 高瀬文志郎・岡村定矩 地人書館
- ・宇宙の大構造—超銀河団に挑む 銀河宇宙オデッセイ⑤ 日本放送出版協会
- ・銀河と宇宙 石田薫一 丸善

天文カレンダー '92夏

| | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 6月8日 ●上弦の月 | 7月23日 ●下弦の月 |
| 15日 ○満月 部分月食があるが日本からは見られない | 30日 ●新月 |
| 21日 夏至 | 8月5日 ●上弦の月 |
| 23日 ●下弦の月 | 10日 海王星の食 |
| 30日 ●新月 | 12日 ペルセウス座流星群が極大 今年が月が明るく条件が悪い |
| 南部大西洋で皆既日食 | 13日 ○満月 |
| 7月6日 水星が東方最大離角 | 21日 ●下弦の月 |
| 7日 ●上弦の月 七夕 | 28日 ●新月 |
| 15日 ○満月 | 9月4日 ●上弦の月 |